

西暦 2023 年 11 月 15 日

臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名] 消化管緊急手術における敗血症性急性腎障害のリスク分析

[研究責任者] 小橋 帝生 麻酔科医師

[研究の概要] 胃や腸管に穴が開いて腹膜炎を起こした時、また腸閉塞や腸管の血流障害により腸管粘膜のバリアが壊れた時には、細菌が血液中に侵入します。血液中に入った細菌が全身を巡って臓器障害を起こす状態を敗血症と言います。この研究では敗血症による急性腎障害をテーマにしています。敗血症が重症化すると血圧が低下しショック状態となることがあります(敗血症性ショックと言います)が、敗血症性ショックと敗血症性急性腎障害の発生には異なるメカニズムが考えられます。また高血圧の患者様によく処方されるお薬の中に敗血症の腎障害で見られるのと同じ状況を腎臓にもたらし薬があり、それらのお薬を服用されている患者様が実際、腸閉塞や腹膜炎などの緊急手術時になると急性腎障害を起こしやすくなる可能性があります。本研究では、敗血症性急性腎障害のリスク要因を分析します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん 胃や腸に穴があいたり、腸閉塞(脱腸が戻らないときも含みます)や腸の炎症(虫垂炎も含みます)が起こったりして2018年11月1日から2023年10月31日の間に緊急手術を受けた方

消化管出血や消化管異物に対する手術例は含まず、透析患者の方も含まれません。

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：年齢、性別、電子カルテ記載内容(周術期経過)、手術病名、手術記録(手術所見)、患者背景(高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙の有無)、術前内服薬(降圧剤、糖尿病薬、利尿薬の種類)、生化学検査値(クレアチニン)、尿量、敗血症性ショックの有無、昇圧薬、等

試料・検体：用いません。

[研究の期間] 横須賀共済病院 臨床研究倫理審査委員会 承認後から

2024年12月31日まで

[研究の発表]

- 日本麻酔科学会第71回学術集会にて、口頭・スライドまたはポスター発表

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710 (代表) (平日 午前8時30分から午後17時15分まで)

FAX 046-822-9139

連絡先対応者

麻酔科 医師(研究責任者) 小橋 帝生

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。

あらかじめご了承ください。

以上